ブランチはいかが

日曜日。昨夜の雨に洗われた木々も清々しい 朝。仕事も一段落したし、そうだ、プチ贅沢 してブランチに行こう!

そんな要望が増えたのでしょうか。お客様の 願いを叶えようと、ファーストフード店、朝 食バイキングのホテルに加えて、レストラン がブランチ商戦に参戦してきました。週末は どこも駐車場がいっぱいで、なかなか盛況の ようです。



まずはテーブルに着いて、季節のフレッシュジュースで胃を目覚めさせながらメニュー拝見。

ご当地の定番朝食は「ププサ」。チーズ、豆や肉のペーストの具が入ったお焼きで、キャベツの漬物やトマトソースを添えて食べます。このほか、トルティーヤに目玉焼きやオムレツなどの卵料理。これに煮豆やチーズ、ソーセージ、揚げバナナのクリーム添え、アボガドなどをお好みで加えます。「タマレス」というエルサルバドル風ちまきもあります。

パンケーキ、フレンチトースト、シリアルなど外国風のもの、季節の果物盛合せなども嬉しいですね。コーヒーは基本お代わり自由です。







ププサ

揚げバナナ、豆ペーストなど

タマレス

加えて、それぞれのレストランではお得意の品で特徴を出しています。パン屋さんだったら、 もちろん焼きたての各種パン。メキシコ料理店ではタコスや ブリート。シーフードレストラン では、大盛りシーフードスープやシュリンプ カクテル。肉料理専門店ではミニステーキ、ソー セージなどの盛り合わせ。これで夕食まで何もいらないくらい。マイクロ ブルーワリーでは、 朝から自家製ビールで「サルー(乾杯)!」

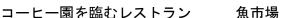
そしてブランチのいいところは、その後、丸一日とはいかなくても 2/3 日くらい自由時間が出来ること。参加者がそれぞれしたいことができます。

街中のレストランだったら、美術館や博物館に立ち寄ったり、たまにはシネマ コンプレックス の大画面で映画観賞もいいかもしれません。

最近 小綺麗なレストランが開店しているサンサルバドル火山は、車で 20 分ほど。小箱根を思わせる山道をドライブしたり、高原のコーヒー園散策が楽しめます。

海までは約30分。魚市場では鯛、鯖、鰹、エビ、牡蠣、イカなどをお土産に。 少し足を延ばすと、国際大会も開かれるビーチでサーフィンもできますよ。







そのまま帰ってお家でまったりする のもまたよし。

…えっ、お仕事ですか…②

勝又さかえ

勝又さかえ氏

1978年に海外青年協力隊 日本語教師として派遣される。2000年に再来し、JICA農業プロジェクト、草の根文化無償資金協力に携わった後、現地コンサルタント業務を行う。現在は、 夫と昨年呼び寄せた父親との3人で晴耕雨読の生活をしている。